

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	薬事衛生課長 柳 俊徳	電話番号	0852-22-5257
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	温泉源の保護と適正活用事業		
目的	(1) 対象	温泉利用者（泉源開発者、泉源利用者、温泉利用者）	
	(2) 意図	温泉を適正に利用してもらう	
事業概要	温泉を適正に利用するため、泉源開発者等に対し、法に基づく許可、監視、指導等を行う。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	法令遵守率	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	%
	式・定義	(監視施設数－指導施設数) / 監視施設数 × 100	取組目標値					
			実績値	71.2				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	141	494
うち一般財源 (千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

温泉の掘削、増掘及び動力装置について、鳥根県自然環境保全審議会に諮問している。
73施設に立入検査を実施し、21施設に対して指導を行った。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

県内の温泉利用施設の管理等が適正であるか確認され、不適正である場合には指導によって改善が図られた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
未利用の泉源は状況が把握しにくい。
- ②困っている状況が発生している「原因」
未利用の泉源は、法令に基づく手続きがなされる機会がない。
- ③原因を解消するための「課題」
未利用の泉源の所有者が死亡する等の理由で、適切な管理者が不在となる場合があり得る。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

未利用の泉源についても、確認に努める。

・課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）